

額田地域の公共交通に係るアンケート結果について

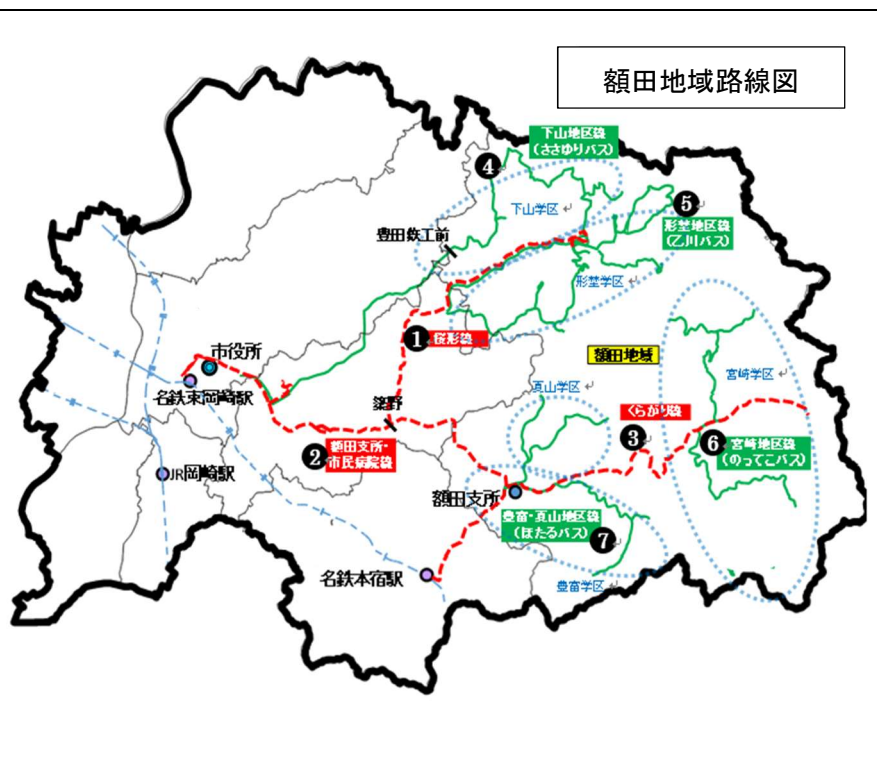
1 概要

調査目的	額田地域における地域住民の日常生活の移動ニーズや公共交通に対する考えを把握し、今後の政策の参考とする。
調査実施日	令和6年12月1日（日）～12月20日（金）
調査対象	3,215名（年齢は令和6年10月1日現在を適用） 内訳：下山地区（中学生以上537名）、その他4地区（65歳以上2,678名）
調査内容	資料6-2のとおり
回答方法	郵送
回答結果	1,304通（回答率約41%）

<参考①> 額田地域基礎情報

○令和6年10月1日現在

地域内人口	7,277人
学区別人口	豊富：3,935人 夏山：634人 宮崎：992人 形埜：1,154人 下山：562人
年少人口割合 (15歳未満)	8.96% (市：13.12%)
高齢者人口割合 (65歳以上)	40.68% (市：24.75%)
過疎地域等 指定状況	山村振興法
面積	160.27km ² (市：387.2km ²)



<参考②> 額田地域コミュニティ交通について（実績値はR5.4～R6.3とする）

額田地域コミュニティ交通は通勤・通学、買物及び通院を目的とした下山地区線と買物及び通院を目的としたその他3路線がある。その内、その他3路線については、1人当たりの市費負担額が大きくなっているが、週1日午前中のみの必要最低限の運行として交通手段を確保している。

路線名	運行日時※	1日当たり利用者数	1人当たり市費負担額
下山地区線	平日 6:40～18:34	16.9人/日	3,337円/人
形埜地区線	金 8:00～12:56	2.9人/日	16,912円/人
宮崎地区線	水 7:57～13:06	3.9人/日	12,760円/人
豊富・夏山地区線	火 8:34～13:02	2.9人/日	15,646円/人

※祝日・年末年始（12月29日～1月3日）は運休

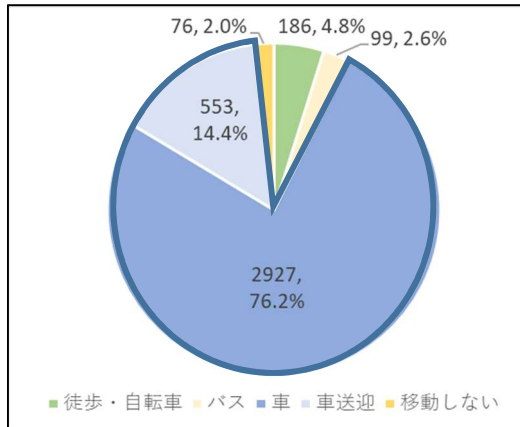
2 結果

○回答者属性について（問 1～問 3）

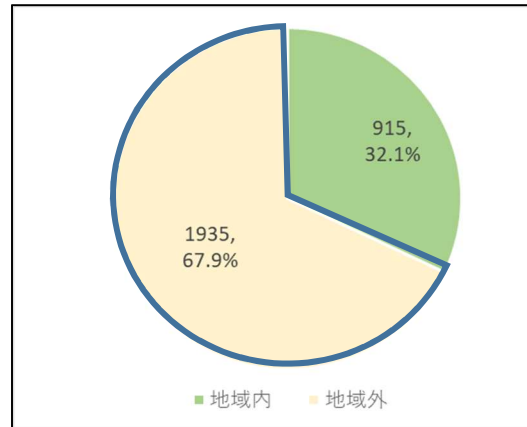
(1) 基礎情報（問 1）

性別	男性:642 (50.0%)、女性:642 (50%)
年齢	10代: 7 (0.5%)、20代: 8 (0.6%)、30代: 9 (0.7%)、40代:17 (1.3%)、50代:18 (1.4%) 60代:284 (22.1%)、70代:645 (50.2%)、80代:252 (19.6%)、90代以上:46 (3.6%)

(2) 日常の移動について（問 2）



【移動手段（全体）】

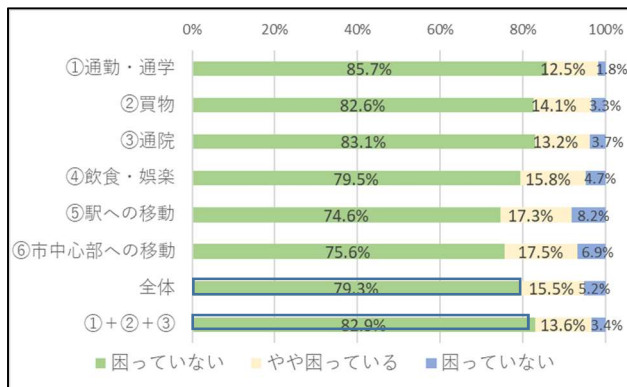


【移動先】

- ・日常の移動の約 76%は車で移動し、家族の車での送迎を含めると車を用いた移動は全体の約 90%を占めており、移動先としては約 68%が額田地域外であった。移動頻度は、買物で週に数回、通院で月に数回である。公共交通機関に乗り換える人は約 2%であり、家族の送迎を含めて車社会であることが分かる。

(3) 移動目的別の現状について（問 3）

①現状の移動に困っているか。

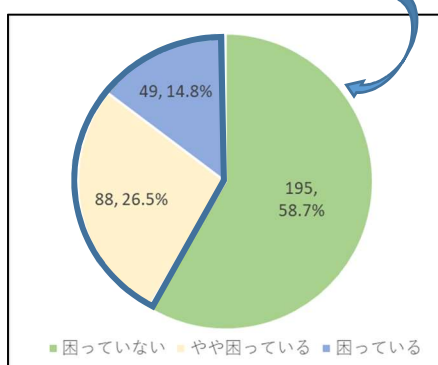


- ・日常の移動に困っていない方は約 79%であり、通勤・通学、買物及び通院に限定すると困っていない方は約 83%である。

困っている移動目的の内訳としては、駅への移動や市街地への移動が合計約 46%と半数程度を占めている。

②周りに助けてくれる人がいるか。

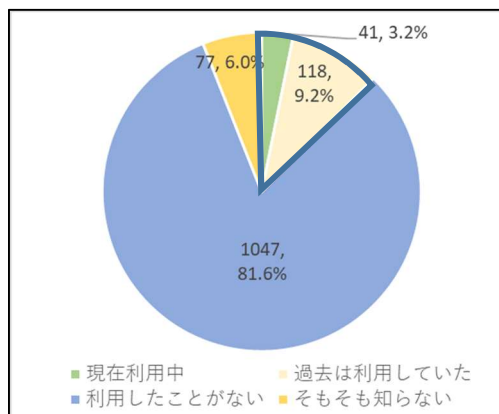
いる	いない
836 (71.6%)	332 (28.4%)



- ・移動に困った際に、周りに助けてくれる人がいない方は約 28%である。その中で、日常の移動に少しでも困っている方は約 41%であることから、全体の約 11%の方は、日常の移動に困っているが周りの助けがない状態であることが分かる。

○既存の公共交通について（問４～問５）

(1) 額田地域コミュニティ交通について（問４）



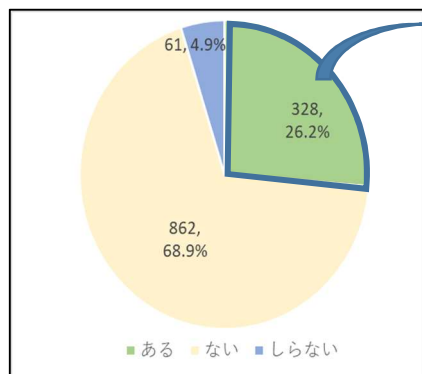
【利用状況】

鉄道や他のバスへの乗換が不便	107 (8.4%)
運行時間帯が利用したい時間帯に合わない	189 (14.8%)
自宅や目的地から停留所まで遠い	73 (5.7%)
運賃が高い	21 (1.6%)
バスの乗り方が分からない	29 (2.3%)
家族が車で送迎してくれる	197 (15.5%)
車の方が便利	658 (51.6%)

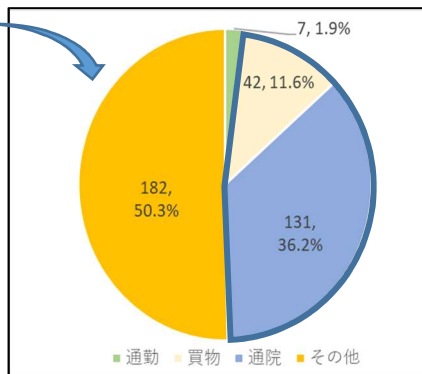
【利用しなくなった又は利用していない理由】

・額田地域コミュニティ交通を知っている方は約 94%、最寄りのバス停が分かる方は約 66%である。コミュニティ交通を知っている方の中で一度でも利用したことがある方は約 13%にとどまっており、理由としては車関係の理由が約 67%を占めている。

(2) 額田地域コミュニティ交通に接続する名鉄バス路線について（問５）



【名鉄の利用】



【移動目的】

名鉄バスを利用したことがある方は約 26%である。利用目的としては買物・通院で合計約 48%と半数程度を占めた。利用時間帯は午前中が多く全体の約 64%である。

○額田地域コミュニティ交通の見直しに重要な視点について（問６）

<下山地区線>

学区内運行から他学区に跨る運行へと移動範囲の拡大	約 13%（学区：大沼、三島、豊富）
フリー乗降区間の拡大	約 40%
ダイヤを変更し、利便性を高める	約 22%
その他（東岡崎駅など駅までの乗入れ意見が大半）	約 25%

<その他３路線>

学区内運行から他学区に跨る運行へと移動範囲の拡大	約 6%（学区：本宿、豊富、下山）
フリー乗降区間の拡大	約 57%
ダイヤを変更し、利便性を高める	約 18%
その他（本宿駅までの乗入れ意見が大半）	約 19%

○今後地域に導入していく公共交通の考え方について（問7）

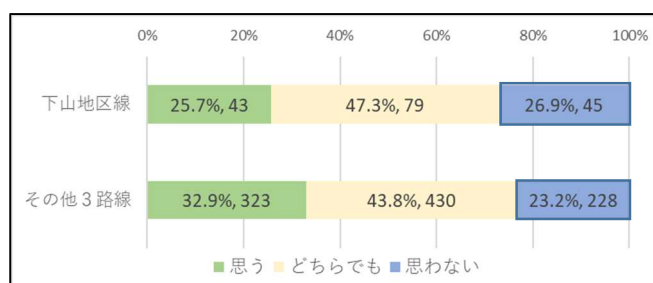
<下山地区線>

現行と同じく定時定路線の交通	約 32%
スクールバスに地域住民も一緒に乗車可能な交通	約 23%
乗合型デマンド交通（目的地限定、予約必要）	約 30%
タクシーのような交通（予約必要、タクシー並みの運賃）	約 15%

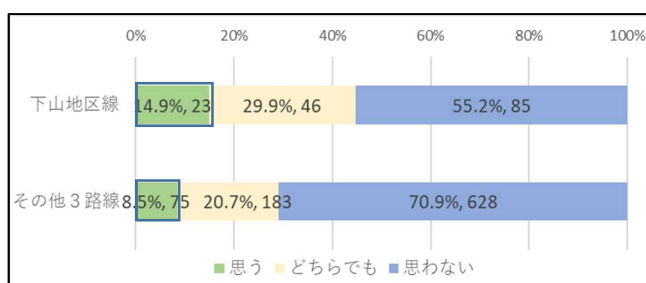
<その他3路線>

現行と同じく定時定路線の交通	約 20%
スクールバスに地域住民も一緒に乗車可能な交通	約 17%
乗合型デマンド交通（目的地限定、予約必要）	約 38%
タクシーのような交通（予約必要、タクシー並みの運賃）	約 25%

○地域の方が運転する交通サービスに係る見解について（問8）



【利用したいか】



【運転手になってもよいか】

<下山地区線>

- ・地域の方が運転する交通サービスを利用したくない方は合計約 27%であり、理由としては、事故発生時のトラブルや交通事業者の方が安心してといった安全面の理由が約 76%と多かった。
- ・23 名の方が運転手になってもよいと回答しており、約 15%である。
- ・有料でも利用する方は約 83%であり、500～1000 円であれば利用される方が約 88%を占める。

<その他3路線>

- ・地域の方が運転する交通サービスを利用したくない方は合計約 23%であり、理由としては、事故発生時のトラブルや交通事業者の方が安心してといった安全面の理由が約 87%と多かった。
- ・75 名の方が運転手になってもよいと回答しており、約 9%である。
- ・有料でも利用する方は約 76%であり、500～1000 円であれば利用される方が約 62%を占める。

3 今後について

- ・今回のアンケート結果をもとに額田地域生活交通協議会と共に今後の額田地域の公共交通について議論を進めていく。
- ・既存の額田地域コミュニティ交通の見直しとして、フリー乗降区間の拡大が大きな割合を占めていたことを踏まえ、地域ニーズをより詳細に聞き、フリー乗降区間の拡大について検討していく。
- ・日常の移動に困っているが周りの助けがない方が 11%いること、今後乗合型デマンド交通やタクシーのような交通を導入する考え方が多くいることを踏まえ、まずは共助交通の導入を検討していく。